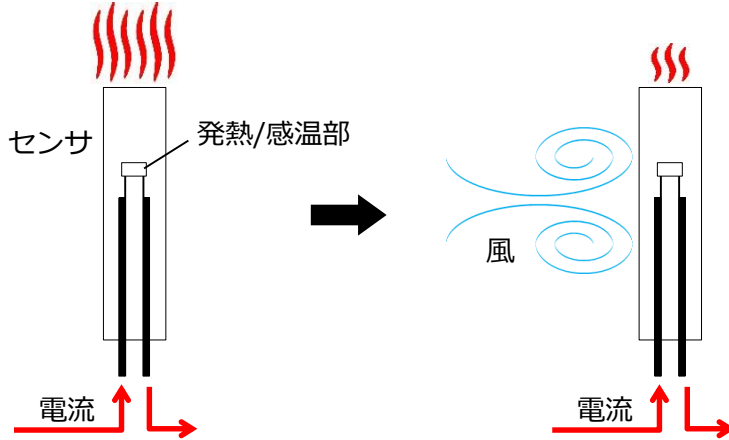


SEMITEC独自の温度センサ技術である極薄フィルムサーミスタ (特許第6842600号)を検知素子として応用した高感度、微風速検知用の風速センサです。

■ 動作原理

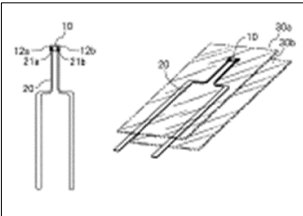


センサ外観



発熱体の冷める度合いは、風に関係します。この発熱体の温度を精密に測定することができれば風速センサとして使用することができます。

素子部構造



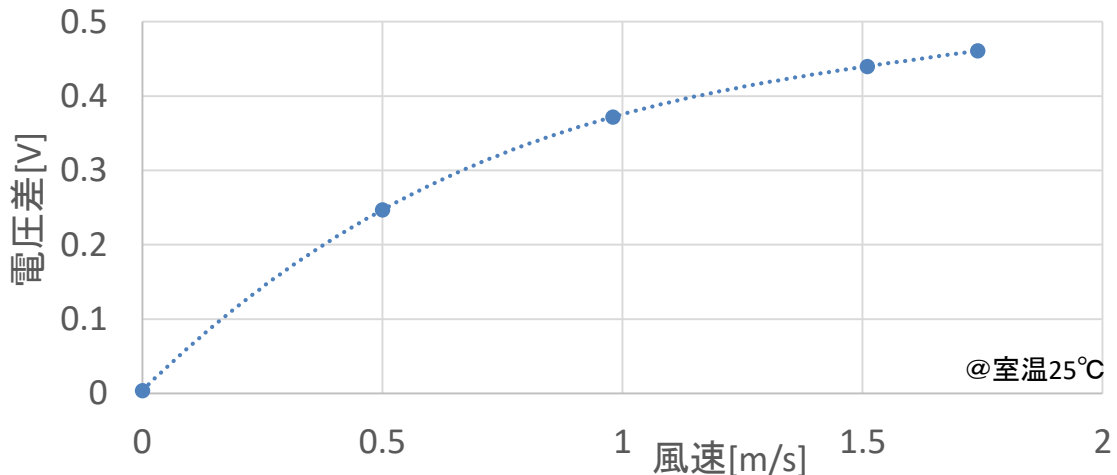
- ・ 薄膜サーミスタFTを金属フレームに接続しフィルムコート
- ・ 発熱/感温部の厚みはわずか200 μ m

||

従来にない超高感度温度センサで高感度風速センサ
(出力約400mV at 1m/s)

■ 特性

風速センサの特性例 (無風下との出力差)



SEMITEC独自の温度センサ技術を応用し微小な温度変化を正確に測定することで、温度以外の物理量のセンシングを可能とした一例です。センシングでの困りごと、ご相談がございましたら、是非お問い合わせください。